

私の留学体験

広島県立高陽東高等学校 2年 越智 彩葉（おち いろは）

留学期間 令和6年3月2日～令和6年3月15日（14日間）

留学先 Tauraroa area school（ファンガレイ、ニュージーランド）

私はこの高校に入学したら絶対にホームステイに参加すると決めていました。楽しい反面、初めての海外を家族なしで過ごすことに凄く不安を感じていました。ですが、ホストファミリーと会うととてもフレンドリーで不安が一瞬でなくなりました。ニュージーランドでの生活はとても充実し、たくさんの思い出ができました。その中で特に覚えていることや、気づいたことを書きます。

1つ目は、自然が沢山身近にあることです。都市部から離れたところに家があったので、道路の横に牛や羊、馬などが放牧されていて日本では見たことがなかったのですごく驚きました。そして、山が開けているので広大な土地が見渡せました。天気がいい日の朝日は本当にきれいでしたし、街灯がないので星もきれいでした。ビーチはごみが落ちていたりすることもなくとても清潔でした。

2つ目は、学校の違いです。現地の生徒さんたちは、当たり前のように髪の色が違ったりピアスが空いていたりネックレスを付けていましたが何も言われていませんでした。授業中、静かにしていると先生に「話し合っているからね」と言われ、日本では授業中に話すと怒られると言うとすごく驚かれました。タウラロアエリアスクールにはモーニングティータイムというお菓子やフルーツなどを食べる時間が20分ほどあり自由な時間を過ごしました。

3つ目は、自分の英語能力の低さに気づいた事です。ホストファミリーや現地の生徒さん、先生と話すときに自分が言いたいことを言えず悔しい時が何度もありました。簡単な質問もすぐに出ないし、聞き取れないし、発音が不安で話すのをためらう事もありました。日本で習っている英語より何倍も速く話されるので実際に話されている英語を聞くのは大切だと気づきました。ホストファミリーの言っていることが分からないときは、その場でスペルを教えてもらい意味を調べ、メモするようにしていました。言葉が理解できないと会話は始まらないので、話せない部分はジェスチャーなどで伝えました。Thank you を一番使ったと思います。

4つ目は、積極性や話そうという気持ち、諦めないことがとても大事だと気づきました。3つ目で書いたように話せない、聞き取りも難しかったですが、登下校の車内では今日の出来事を単語でつなげて話したり、日常生活では聞き直したり、伝えることはどんな方法を使ってでも伝えようと頑張りました。教えてもらった単語はなるべく使ったり、ホストファミリーがたまにクイズ大会をしてくれたので、思い出せるようにしていました。単語の意味を答えられたときに、「あなたは私の一番の生徒」と言ってもらえたのがすごくうれしかったです。ニュージーランドに来て、努力するという力がついたと思います。

今回の留学で、考え方が変わったり文化の違いをたくさん知ることができました。そして、英語の不十分さも知ることができました。日本を出ることで、こんなに自由な国があるんだと気づかされました。2週間と短い期間で変わったので、次は長期留学に行きたいです。1番の課題は英語を話す力の無さだと思ったので、これから英語についてもっと興味を持ち勉強を頑張ろうと思います。ニュージーランドに行くことができ本当に良かったです。